

# 令和4年度 経過報告

第41回定期総会を昨年7月に開催してから1年が経過し、本日ここに第42回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をするため開催するものであります。

4年目を迎えた新型コロナウイルス禍は、2類から5類へ移行され、ようやく日常の生活に戻りつつあります。建材、資材の高騰は収まりつつありますが、まだまだ組合員の仕事に大きな影響を与えている状況は続いております。また、とどまることのない食料品、日用品等の物価上昇が組合員の生活に大きな打撃を与えております。まさに賃金の伸びが物価高においついていないのが現状です。

新型コロナ感染症の5類移行に伴い、組合の行事、イベント等が徐々に再開される中で組合のメリットを活用した年2回の拡大運動に取り組み、その中で宣伝カー、ホームセンターでの拡大宣伝物配布行動、事業所訪問など、組合員・ご家族の皆様、役員、職員が一丸となって、奮闘し、春の拡大月間中は本部割当37名に対して、18名の加入者がありました。しかし、1年を通して脱退者、除籍者が151名と加入者の76名を上回り、昨年5月末の組織数を75名下回る1,519名で4年度を終えました。

地元国会議員に対し、建設国保の予算

確保と育成強化、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の見直し・延期を求める要請行動をしました。

また、『関西建設アスベスト訴訟 公正判決を求める団体署名』や『建設アスベスト被害給付金法（略称）を改正し、「建材企業が参加する補償基金制度の創設」を求める請願書名』、建設国保の予算要求ハガキ運動、「国保組合の育成・強化、保険証交付の存続を求める要請署名行動」にも取り組んできました。また、全建総連のアンケート等にも協力してきました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場にたって本部とともに取り組んできました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員のみなさんに心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

## 組 織 部

1. 部会を5回開催し、組織拡大に取り組みました。
1. コロナ禍中は開催できなかった支部・分会組織活動者会議を本年は3月26日に開催し、分会組織の充実、強化に向けた取り組みをしました。
1. 拡大推進委員会を10月3日と2月24

日の年2回開催し、拡大運動に向けた行動を具体的に討議しました。

1. 本年も組織の拡大に向けて、現場訪問やホームセンター4店舗を交互に宣伝物の配布を毎月行いました。
1. 2月26日に立花西地区にポスティング配布を行い、2000部を配布しました。
1. 春の拡大月間において、事業所訪問を支部役員と分会役員で実施しました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の3名です。又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた次の1名の方に感謝状を贈呈して感謝の意を表します。

## 令和4年度拡大功労者

(R4.6～R5.5加入分)

氏名	分会
川本 秀昭	立花北
石本 究	園田西
柳川 伸也	伊丹南

(敬称略)

## 役員表彰者

氏名	分会
福井 啓二	立花南

(敬称略)

## 教 宣 部

1. 部会を年1回開催しました。
1. 支部機関紙は新年号・健診号外を含めて年8回発行しました。
1. 機関紙には組合員・ご家族の登場・原稿を掲載し親しみの湧く機関紙づくりに努めました。
1. 拡大月間には拡大行動の写真を中心に紙面を構成し、組合員さんに拡大行動の協力を依頼しました。
1. 10月30日、本部主催の教宣実務学習会に1名参加しました。
1. 支部教宣実務学習会を5月21日に開催し、9名の参加がありました。
1. ホームページの更新を毎月行いました。
1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

## 税 対 部

1. 1月26日、税金決算記帳講習会を開催し、19名の出席がありました。
1. 2月14日女性センタートレピエ、2月16日尼崎市中小企業センター、2月20日伊丹ホールにおいて税金申告相談を3回行い、合わせて79名の参加がありました。
1. 部会を1回開催しました。

## 賃 対 部

1. 賃対部会を4回開催しました。

1. 2月1日に行われた県連賃金討論集  
会に支部より1名が参加しました。
1. 3・25統一行動は12名参加して大庄  
地区を中心に4月2日ポケット  
ティッシュ及び拡大宣伝物(2400部)  
の配布活動を実施し、組織拡大に協  
力しました。
1. 家計簿調査と賃金アンケートを本部  
の要請で実施しました。

## 住技対部

1. 部会を2回開催しました。
1. 3月の支部本部合同住技部会に参加  
しました。
1. 技能講習会の参加者は1名でした。
1. 新型コロナウイルスによる自粛によ  
り祭行事は中止となりました。
1. 奉仕活動として、西宮分会組合員さ  
んより三角竹馬の製作依頼があり、  
西宮の小学校へ納めました。
1. 社会見学会は新型コロナウイルスに  
よる自粛により中止しました。

## 社保対部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が  
少なくなるように組合でも全建総連  
中央決起大会参加及び請願書・ハガ  
キ要請行動などを通じて努力してき  
ました。
1. 新加入者集会を原則毎月2日に実施  
し、組合活動や建設国保に対する認  
識及び、保険料等の納付についての

説明を行い滞納のないように努めて  
きました。又未加入者の紹介のよび  
かけもあわせて、新加入者アンケ  
ートに協力していただきました。

1. 保険証交換学習会は、コロナ禍のた  
め今年も中止となり、保険証・兵庫  
土建事業案内は郵送しました。ま  
た、建設国保補助金獲得のため要請  
ハガキも返信用封筒をつけての郵送  
対応となりました。
1. 保険証交換学習会対策用の支部役員  
向け学習会も中止にしました。
1. 保険料・介護保険料滞納対策につい  
ては、毎月幹事会で分会単位で対応  
しましたが、滞納がない状況にする  
ことは出来ませんでした。
1. 健康教室はコロナ対策でやむなく中  
止しました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、  
令和5年5月現在で232件です。新  
加入者集会にて、加入をすすめてき  
ました。建退共の掛金は令和3年10  
月より1日320円となり、一人親方  
は1ヶ月23日、事業所は25日として  
統一しています。事務費として1ヶ  
月30円を徴収しています。

## 青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月  
開催される青年部幹事会に出席し指  
導してきました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してき  
ました。